



社会福祉法人大和善隣館  
 幼保連携型認定こども園 蓮代寺こども園  
 小松市蓮代寺町に173 Tel 46-6997  
<http://www.rendaiji-kodomoen.com>

社会福祉法人大和善隣館はSDGs宣言します



園児への教育や保護者への子育て支援並びに児童の健全育成と保護者支援に取り組んでいます。

2023年がスタートしました。本年も地域に根差し愛されるこども園となるよう職員一同努めて参ります。何卒よろしくお願い致します。  
 コロナ禍に入りやがて3年目になろうとしています。保育の場では、子どもたちにとって安心と安全を第一に考え、教育・保育を行っています。そのような中で子どもたちは、日々の繰り返しにより、手洗い等の基本的感染対策を自ら行っていくようになりました。  
 さて、1月下旬には「10年に一度の強烈な寒波」が襲来し、激しい風と積雪に見舞われました。まだまだ寒い日が続くと思いますが、どうかお気をつけてお過ごしください。

### 蓮代寺こども園の教育・保育方針

【三つのゼン】  
 アンゼン シゼン セキゼン  
 安全・自然・積善

積善とは～

人として生きていくために必要な行動の基礎である道徳性の芽生えを認め、自分なりに気づき考えるように援助し、心の育ちを支えることです。  
 大和善隣館では、のびのびとした園生活の中で善悪の判断や決まりを守る道徳性の芽生えを育み、善き行いを積み重ねる努力を認め心のそだちを支えます。

### 大発見！モズのはやにえ

園庭の築山の上に藪椿が植えてあります。あるポカポカ日和のこと、「虹色トカゲや！」と歓声を上げ、子どもたちが指差しをしている先を保育者も覗き込んでみると、藪椿の枝に干からびたトカゲが刺さっていました。子どもたちは「なんでここにトカゲがいるの?」「かわいそうだね」と口々につぶやいていました。誰かのいたずらなのかと不思議に思い、子どもたちと調べてみると“モズのはやにえ”だということがわかりました。そして、餌のない厳しい冬に備えて、秋口にモズがとった餌を木の枝などにさしたものだということを知りました。一説によると、その年、はやにえの高さまで雪が積もるとも言われているようです。ちなみに、藪椿についていたとかげの高さは年長児の背丈と同じくらいでした。



トカゲが引っかかっているね。

園庭に出るたびに“はやにえ”がまだあるのか確かめに行っていた子どもたちですが、ある日、なくなっていました。モズが食べに来たのかな?



その後、玄関の門松にも“はやにえ”を発見しました。「これもモズがしたことなのかな?」と子どもたちは眺めていました。

### 門松づくりを見たよ

今年も東山町の谷口さんのご厚意により、門松作りの様子を見せて頂きました。縁起の良い「松」「竹」「梅」「南天」などを使った門松作りを目の当たりにした子ども達は、どの子も興味深々の様子でした。特に藁で編んだ“こも”を器用に鉢に巻きつけていく様子に子どもたちは見入っていました。また、南天の赤い実を見て「これ知ってる!」「家にもある!」などと声を弾ませていました。

谷口さんは、山に入り門松に適した松や竹などを採られるそうです。特に竹はまっすぐに伸びたものを見つけるのに苦労されたとお聞きしました。熊笹や梅などが次々と入り、立派な門松が完成し、お正月の年神様をお迎えする目印として玄関に門松を飾りました。

また、玄関には、色鮮やかな繭玉や保育者がついた鏡餅のお飾りも飾りました。



### 味噌おでん



(下ごしらえ)

- |         |       |                               |
|---------|-------|-------------------------------|
| 材料(4人分) |       | ① 刻み昆布を水につけしばらくしたらザルにあげて水をきる。 |
| ・大根     | 1/2 本 | ② 大根と人参は皮をむき、いちょう切りにする。       |
| ・人参     | 1/2 本 | ③ 里芋の皮をむき、4~6等分に切り塩ゆでする。      |
| ・里芋     | 5 個   | ④ ちくわを輪切りにする。                 |
| ・ちくわ    | 1 本   | ⑤ 板こんにやくを食べやすい大きさに切り湯通しする。    |
| ・板こんにやく | 1/2 枚 | (作り方)                         |
| ・刻み昆布   | 15g   | ・鍋に①と②を入れ、しばらく煮て火を通す。         |
| ・砂糖     | 大さじ4  | ・④と⑤を加え、しばらく煮る。               |
| ・しょうゆ   | 大さじ3  | ・③と調味料を入れ煮込む。                 |
| ・味噌     | 30g   |                               |

### 子どもたちにとっての積善とは

#### 0歳児ひよこ組

温かく丁寧な優しい語り掛けや触れ合いにより、情緒的な絆が芽生え、情緒が安定すると徐々に人や物に興味をもつようになります。



わたしも入っちゃった!

Aちゃんが好きな『バスの乗って♪』のふれあい遊びをしていると、別のお友だちが膝に乗ってきました。すると一緒に体を揺らしながら笑顔一杯に遊ぶ様子が見られました。

毎日のスキンシップや触れ合い遊びを重ねていく中で、保育者と一緒にいることを喜び情緒が安定してくると、次第に身近な友だちの存在に気づき、同じものを見つめたり、側に行ったりして関わりを持とうとするようになりました。

#### 1歳児りす組

様々な欲求や気持ちを受け止めてもらいながら、少しずつ自分の気持ちを表わすことができるようになります。



(ズボンに)足が入ったね

少しずつ言葉数が増えてきたBちゃん。保育者がごっこ遊びに用意した様々なお菓子や食べ物の袋の中から、お気に入りのアンパンマンの絵柄を見つけ、早速、保育者のもとに見せに来ました。「あんまんまん」と片言ながら伝えにきたBちゃんの嬉しい気持ちが伝わってきて「アンパンマンあったね。よかったね」と一緒に喜び合いました。

#### 2歳児ちゅうりっぷ組

友だちとの関わりの中で、相手の存在に気付き、保育者に気持ちを受け止めてもらいながら、関わり方を少しずつ身につけていきます。



一人でファスナーを上げることが難しいC君ですが、友だちがジャンパーのファスナーができずに困っている様子を見ると傍に行き手伝ってあげていました。しかし何度してもうまくいきません。しばらく様子を見ていた保育者が一緒に手伝いファスナーが上がると、二人でニコッと笑い合っていました。

#### 3歳児たんぽぽ組

保育者の仲立ちにより、友だちと関わりの中で、相手の気持ちに気づき、共に過ごすことを喜ぶようになります。



お腹いっぱいになったかな

保育室ではピクニックごっこ、園庭では忍者ごっこをよくしています。友だちと代わる代わる人形に食事をさせたり「公園に行こう」とイメージを共有したりして楽しそうに遊んでいます。

時には喧嘩もしますが、双方の気持ちを保育者が受け止め、仲立ちとなり相手の思いを伝えることで気持ちを立て直し、再びごっこ遊びが始まります。

#### 4歳児ゆり組

友だちとの関わりの中で、自分の思いを主張したり、相手の思いを受け入れたりしようとするようになります。



助けてー 鬼に捕まっちゃったー

「バナナ鬼しよう」と集まった子どもたちは、まず鬼を決めます。この遊びの鬼決めはジャンケンではなく、皆のズックを指さしながら、「鬼決めの歌」を歌います。小学校にお姉ちゃんがいるDちゃんは、歌やり方を習ったようで、バナナ鬼をする時はいつも歌うことを買って出ていました。ある日、Eちゃんが「わたし歌うのしたい」と言い出しました。「いつもDちゃんにしてもらっていたよ」と友だちから言われても、Eちゃんは「今日はやりたい」と訴えました。Eちゃんの思いが伝わると、「いいよ」と交代することになり、歌やり方をすっかり覚えていたEちゃんの進行でバナナ鬼が賑やかに始まりました。

#### 5歳児ひまわり組

友だちとの関わりを深める中で、協力して物事をやり遂げ充実感を味わいます。また、善悪の判断や決まりを守る大切さなど社会生活に必要な習慣や態度が身につけてきます。



園庭で凧あげをした時のこと、速く走っても凧がうまく上がらなかったことから“ひまわりタイム”が始まりました。「もっと風が吹くと上がるかも」「紐を長くしてみよう」と考え、紐や骨の長さや位置を工夫して作り直し、皆で強い風を待ち試していました。

この“ひまわりタイム”とは、生活の振り返りや行事や活動を主体的に行えるよう皆が集まって対話する時間のことです。初めは我先に発言し聞いてもらいたい思いばかりが先行していましたが、徐々に友だちの話を聞き、再び皆で考えることができるようになってきました。